

NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.16

☐ 岡村の最近の注目ニュース ☐ ビジネス予備校近況リポート ☐ B-EAT 会活動報告 ☐ What's up?

2021 年 07 月

2021/07

いつ始めても
遅すぎることはない。

現状を的確に認識すれば、 変革の思いが生まれ行動に繋がる

ここ数か月、積水ハウス地面師事件に端を発した新旧経営陣の対峙、東芝をめぐる長期的な経営問題、オリンピック開催に関する焦点の定まらない議論、ワクチン接種の情報開示の遅れ等々の報道を耳にし、さらにその報道姿勢を疑問視する声にも触れ、おしなべて権威あるものへの世間の不信感が急速に高まっているのを感じます。

**このまま日本は落ちていくんだよ、と自虐的な気持ちになっていないでしょうか？
むしろ逆のタイミングだとお伝えしたい。**

私は、久しぶりに日本の将来に明るい兆し（の芽）を見つけ、とても前向きな気持ちです。

数年前、日本企業で働くアジア籍の若手に、「先生！落ちていく国で学んで何の意味があるのですか？」と言われ、ショックでした。海外居住者やグローバル企業人には既知の日本の現実です。外から見れば明らかな日本の競争力の劣化が、中にいるとなぜ気づけないのか？！！ゆでガエル状態（知らないうちに茹で上がってしまっている状態）を知らしめたい焦燥感にかられました。

それが遂に、“どうやら我々の好きな日本は、随分とまずい状態にある”と気づく人が増えてきたのです。現状を的確に認識すれば、変革の思いが生まれ行動に繋がります。これこそが、明るい将来の予兆。

既に、変化は始まっています。人財アジアはお陰様で今月設立9年目に入りました。短い期間ですが、それでも研修参加者の意識の変化の大きさに驚かされます。かつては、グローバル時代に活躍できる人財とは？と投げかけると、日本を出る気はないし・・・と冷めた反応が主流でした。いまは、海外勤務の希望はないが外国籍の同僚を理解したい、いずれは伸び行く海外と関わりたい、一度は勤務してみたい等、動機は異なれど、“広い世界を知りたい意欲”は格段にあがっています。

大谷翔平選手の目覚ましい活躍は、世界に真剣に目を向ける人財が増加しつつある日本から生まれた必然の結果ではないでしょうか？その前向きなコミットメントから生まれるエネルギーは、同じプロとして進化を目指すビジネスパーソンに示唆を与えてくれます。

市場価値（＝稼ぐ力）＝スキル X 実績 X 変革心 X 気合

皆さんの潜在的なスキルや実績はご自身が思うよりはるかに高い、それがグローバルビジネスの現場で勝負してきた私の実感です。もう会社でさんざん改革案を出してきたけれど疲れたよ、などといま言っていては相場観が悪い。あなたの実現したい理想に向かって明るく邁進する！これからがチャンス。老婆心ながら、“言いたいことを言え、でも好かれよ！”・・・言い方には工夫しつつ、自らの思いにこだわっていきましょう。

本日で寄稿くださった成川さんは、日本の伝統的銀行・企業で経営に従事され、その後も世界でアクティブに活躍されている方です。次世代のために、自己変革を語りかける姿勢を私はいつも RESPECT しています。

コロナによって もたらされる社会の変化

元みずほ銀行常務取締役
元新日鉄興和不動産株式会社
代表取締役社長
成川 哲夫 氏



新型コロナウイルス禍がもたらした世界的なパンデミックは、日本の社会とEATで学ばれた皆さんの働き方や生き方にどのような影響をもたらすのだろうか。コロナ禍の中で起こった変化を踏まえて、私を感じていることを皆さんにお伝えして、多少の示唆となれば幸いである。

今コロナ禍にあつて、変異株の出現などにより、コロナの収束には更に時間がかかっているが、今後どこかでコロナの収束宣言が出て、経済再開の号砲が鳴ることは容易に想像できる。そのとき、日本社会、日本企業はそのスタートダッシュに適合していきけるのだろうか。日本社会や日本企業にその準備ができているのだろうか。

なぜなら、コロナがもたらしたもので、コロナがもたらしたものに価値観の変化に外ならないからである。皆さんを含めて、コロナをきっかけにして世界の多くの人々が価値観の変化を実感している。

例えばサステイナビリティや社会貢献等に関する価値観の変化だけでなく、この価値観の変化がグローバルなルール形成にも影響を与えつつあつて、それに日本が本場に適合できるのかが問われている。

これまで日本は、グローバルなルール形成に関しては存在感が小さかったが、環境問題を例に取れば、日本の歴史の中で大事にされてきた自然との共生といった観点で、そのルール作りに貢献できるはずであり、それは皆さんの双肩にかかっている。

私自身が関わってきたスマートシティの考え方で、テクノロジーをどう使うかではなく、自然との共生こそが今後の大きなテーマとなるだろう。これまでの資本主義社会や文明の在り方を見直し、どういう社会を築いていくのかという議論が、これから皆さんが生きていく時代には非常に重要なテーマになってくる。そしてそれに基づいて国家の政策もあるべきで、それを決めるのも皆さんである。

不確実性がある激動の時代にこそ、若い皆さんや、企業にとっても大きなチャンスがある。

コロナ下、人の移動が難しくなつて、それをカバーするために様々なオンラインが発達したが、これは逆にグローバル化を急速に進めた部分がある。私もこれまで頻繁に海外出張をしてきたが、もはや今までの海外出張の3分の2は不要になった。もちろん人と人との直接の接触が信頼感を生むことも事実であるが、情報の獲得や交換という点は、オンラインでかなりの部分カバーされる。

今急速に進むデジタル化は、意思決定行動をさらに大きく変化させ、フラット化させていくだろう。企業にとつて、これに伴う組織の変革は不可欠である。デジタル化によって、細切れの時間活用が可能になり、マルチタスクの展開が容易になり、自律分散型の組織社会構造に変化していくことを示唆している。

日本企業の組織の中のデジタル化の遅れや意思決定システムの硬直性を考えると、これからいろいろな大きな産業構造の変化が起き、新しい産業が現れ、産業の垣根もなくなっていくだろう。そうすると企業は、ビジネスモデルを変えていかなければならず、それは組織をどう変えられるかにかかっている。

皆さんが自分の頭で考え、今いる会社の組織を強化したり変えていったり、あるいは自分の新しい道を切り開いたりしていかれることを期待している。

B-EAT ビジネス予備校のOB/OGによる地域を超えた繋がり

6/10 ミャンマーの現状と今後 オンライン交流を実施

講演内容

緊急開催!!

世界が注目する ミャンマー人材の可能性について

講師 西垣 充 氏
J-SAT 代表取締役

1998年にジェイサットコンサルティングを設立。約20年にわたってミャンマー人の高度人材や技能実習生の派遣を手掛けており、幅広くミャンマーの発展に貢献している。



皆様こんにちは！ EAT 東京6期生のゼインです。日本に滞在して4年弱になりますが、残念ながらミャンマーのことをあまりご存知ない日本人の方がたくさんいます。クーデターになって、新聞やニュースで報道されてからミャンマーのことが知られたと思います。実はこういうことで知られたくはなくて、我々の努力や能力を皆さんに知ってもらいたいので悔しく感じます。西垣社長の講演会で少しでもミャンマーの良さが分かったら非常に嬉しいです。ご手配くださった6期幹事皆様にも感謝します。

What's up?



大格 康平
KOUHEI OKAKU
EAT ビジネス予備校
福岡クラス (1期生)
九州電力株式会社
熊本支店

EATの福岡クラスを卒業してから3年。振り返ってみると、EATで学んだことが自分の中で確実に生きていていると感じる場面もある一方、最大角度で成長しているのだろうか、もっと学びを活かせるのではないかと反省すべきことも多々あります。今年度からは「若手向け Next 3 Years 講座」に参加させていただいており、同年代の方々と講義を通して刺激を受けています。今後も継続的にEATで学び、成長していきたいと思っています。

EAT 株式会社人財アジア

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館20階

[TEL] 03-6300-6460 [Mail] info@eat-star.asia

特別寄稿およびWhat's up? に掲載して下さる方を募集しています。ご希望の方は事務局までお問い合わせのほど、お願い致します。